

旅行の思い出

海に沈む太陽を見に行きたいと思い、実行に移したのは4年前のことだった。海から昇る太陽であれば、この辺りなら気軽に見に行くことができる。しかし逆となると、最低でも県外まで行かないと見ることはできない。どうせ遠くまで出かけるのなら、せっかくだしより美しい景色を見たい。そう考えながら計画を立てた。

いろいろと調べるなかで最終的に目的地として定めたのが、長崎県佐世保市にある九十九島、その風景を見ることができる弓張岳^{ゆみはりだけ}だった(右図のあたり)。日南から車で5時間ほど、途中で挟む休憩の事も考えると6時間あまりの行程になる。ちょっと遠い気もしたが、調べている時に見つけた風景写真がとても美しく、直接自分の目で見たいと思って場所を決めた。

そして当日。天気が一番の心配要素ではあったが、幸い予報は全国的に晴れ。安心して日南を発った。片道6時間の道のりはやはり長かったが、普段なかなか通ることができないような地域をドライブするのは新鮮な気分だった。現地についてホテルにチェックインした後は、すこし休憩してから市街の散策に出かけた。街の中心部のアーケードが賑やかで印象深かったのを覚えている(アーケードの直線部分の長さは日本一らしい)。

夕方になってから、市内から多少離れたところにある弓張岳の展望台へと向かった。周囲の探索をする時間を考えて日没予定時刻の1時間ほど前には到着していたが、展望台とそれに付属するお手洗いがあらかい本当に静かな場所で、ちょっと歩き回ったあとはすぐに展望台に上がることにした。階段を登りきったところで見えた景色、夕焼けと広い海とそこに浮かぶ島々の風景は本当に綺麗で、長時間の車の運転で疲労はあったもののそれだけの価値があったと思える光景だった。

肝心の日没の瞬間だが、残念ながら海上に現れていた大きな雲の影響で、海に陽が沈むその瞬間を見ることはできなかった。しかしその代わり、雲のむこうから姿を見せようとする真っ赤な夕陽が、大気や雲の影響によってその姿を揺らめかせている幻想的な風景を見ることが出来た。

コロナ禍のために遠出ができなくなってしばらくになる。県外どころか日南市外にさえほとんど出ることがない状態になってからもう1年と半年以上だ。コロナ禍が落ち着いたその時にはまた遠くに出かけて、どこか美しい景色を見に行きたいと思っている。



※ 無限会は、10/15(金)にコースを変更して実施することになりました。

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
10月	4	月		○	×	8:15 登校
	5	火		○	×	8:15 登校
	6	水	中間テスト ①自習 ②数学(前) ③化学基礎	×	×	8:15 登校
	7	木	中間テスト ①数学(後) ②古典 ③コミュ英 I	×	×	8:15 登校
	8	金	中間テスト ①現代社会 ②現代文 ③英表 I	×	×	8:15 登校
	9	土				
	10	日				
	11	月	FT: 学年集会	○	C	7:25 登校
	12	火	⑤⑥選択科目の内容説明会	○	C	7:25 登校
	13	水	FT: 各種委員会 寺子屋にちなん 16:00-	○	C	7:25 登校
	14	木	⑦FT: 人権教育	○	C	7:25 登校
	15	金	無限会(吉野方コース 14.1km)	×	×	8:15 登校
	16	土	土曜講座 A 駿台模試(探究+希望者)は、7:25 登校です。			8:15 登校